



「貝塚エージェンシー」の育成に向けて ～市全体で学びの方向性を共有します～

貝塚市教育委員会では、これからの社会を生きる子どもたちに必要な力を育むため、市内すべての学校が共通の方向性をもって教育を進められるよう、「グランドデザイン」を策定しました。

社会が大きく変化し、正解が一つではない時代だからこそ、子どもたちには、自分で考え、周りの人と協力しながら課題を解決し、未来を切り拓いていく力が求められています。そこで、子どもたちに育みたい力を「貝塚エージェンシー」と名付けました。

「貝塚エージェンシー」とは

「正解のない時代に、課題を自分ごとでとらえ、対話をとおして新たな価値を創造するとともに、責任をもって行動し、困難を乗り越えながら未来をつくる力」です。

この力を育てるために、土台となる三つの力を大切にします。

- *主体性…自ら問いを考え、行動へつなぐ力
 - *協調性…対話により、多様な意見を認め合う力
 - *創造性…既存の枠にとらわれず、新たな発想を生み出す力
- さらに、これらの力を育む学びとして、「探究」を大切にします。

「探究」とは

単に調べて終わる学習ではありません。「なぜだろう」「どうすればよいだろう」と問いをもち、自分で調べたり、友だちと話し合ったり、実際にやってみたりしながら考えを深め、最後に振り返って次の学びにつなげていく学習です。

自分自身の興味のあることや、実現させたいことなどの土台となるこの探究学習をとおして、「貝塚エージェンシー」を育てていきます。



学校では、「問いをたてる→調べる・聴く→比べる・決める→やってみる・伝える→振り返る・つなぐ」という学びの流れを大切にしながら、子どもたち一人ひとりの成長を支えています。

今後も貝塚市では、市内すべての学校が同じ方向を向き、「子どもたちが自ら考えているか」「友だちとの対話を通して学びを深めているか」「自分で決めて行動し、その経験を次の学びにつなげているか」という視点を大切にしながら、授業づくりや学校づくりを進めてまいります。

中学校部活動 拠点校方式がスタート！

～市内どの中学校からでもブラスバンド部の活動に参加できます～

文部科学省は、中学校の部活動について地域展開を進めています。学校単位で運営されていた部活動を、地域の団体が主体となる活動へ段階的に移行・発展させていく取り組みです。

貝塚市では、令和11年度から部活動を段階的に地域へ展開していくことをめざして準備を進めています。その取り組みの一つとして、今年度から「拠点校方式による部活動」を導入することになりました。

拠点校方式は、市内のいずれかの中学校を拠点校とし、他の学校の生徒が、学校の枠をこえて拠点校の部活動に参加することができるもので、2学期からブラスバンド部でスタートします。

ブラスバンド部の拠点校方式はどのようにおこなわれるの？

拠点校は、二色学園です。活動日は当初は休日のみで、費用は必要ありません。（平日の活動をどうするのかは、現在検討中です。）

活動は二色学園で行いますが、移動については保護者の責任において行い、移動に係る費用は保護者負担となります。また、移動や活動中の事故やケガについては、日本スポーツ振興センター保険で補償されます。

入部には手続きが必要となりますので、在籍校にお問い合わせください。



未来の創り手を育てる！ 中央小学校で「本物」の選挙を体験



↑ 3つの政党の選挙ポスター

6月30日（火）に、貝塚市選挙管理委員会にご協力いただき、中央小学校6年生を対象に、模擬選挙を実施しました。テーマは、「中央小学校に楽しく登校するために、わたしたちができること」。子どもたちは、自分たちの学校生活をより良くするためのアイデアを持ち寄り、民主的な意思決定の仕組みを実際に体験しながら学びました。

本番に向けて、子どもたちは各クラスで政党を立ち上げ、公約（マニフェスト）を考えました。ポスターを作成して校内に掲示し、演説の練習を重ねるなど、選挙運動にも主体的に取り組みました。

当日は、各クラスから3つの政党が立候補し、「みんなが笑顔になれる学校」「より楽しく安心して過ごせる学校」などをめざした公約を掲げて演説を行いました。投票する児童は、「自分のクラスだから」という理由ではなく、演説の内容や公約をよく聞き、「本当に学校がより良くなる提案か」という視点で一票を投じました。それぞれの提案を比較し、自分の考えで投票先を選ぶ姿からは、真剣に学校の未来を考える様子がうかがえました。



↑ 選挙で使われる記載台で投票体験

今回の模擬選挙では、選挙管理委員会から実際の投票箱や記載台を借用し、受付から投票、開票まで本物の選挙と同じ流れで実施しました。普段見ることがない選挙用具に触れながら体験することで、子どもたちは選挙の仕組みや投票の意義を、より実感をもって学ぶことができました。



開票作業では、各クラスから選ばれた9名の児童がサポーターとして責任をもって作業を進めました。緊張感のある開票の後、校長先生から当選結果が発表されると、会場は大きな拍手に包まれ、子どもたちは選挙の結果を受け止めるとともに、民主的な意思決定の大切さを実感していました。

参加した児童からは、「演説を聞いて、自分で考えて投票することの大切さがわかった。」「選挙の流れを実際に体験できてよかった。」といった感想が聞かれました。

今回の学習では、子どもたちが自分たちの学校生活をより良くするために考え、話し合い、自らの意思で一票を投じるという貴重な経験を積むことができました。多様な考えに触れながら対話を重ね、よりよい答えを見いだそうとする姿勢は、これからの社会を担う主権者として、とても大切です。今後も学校・家庭・地域、そして関係機関と連携しながら、子どもたちが「自分たちの手で身近な社会や未来をより良くしていける」という実感を育む主権者教育を推進していきます。



ご存じですか？

欠席などで受診できなかった定期健康診断を夏休みに受診できます

市立小・中・義務教育学校の児童・生徒が欠席などにより在籍校での定期健康診断を受診できなかった場合、学校医または学校歯科医の診療所等で、受けることができます。受診可能期間は、1学期終業式から2学期始業式までです。

詳しくは、在籍校にご確認ください。

教育に関する悩みの電話相談

【教育研究センター教育相談室】



コスモスダイヤル

フリーダイヤル

0120-222-674

☎ 072-433-7110

月・水・木（祝日を除く） 9:15~16:45

学校生活で悩んでいることはありませんか？
困っていることはありませんか？
いじめや不登校などについて、子ども、保護者を問わず、誰でも相談できます。
コスモスダイヤルに電話してね！



虐待やヤングケアラーなど
子どもに関する相談全般
貝塚市役所子ども部子ども相談課

平日 8:45~17:15

072-433-7022

虐待や子どもの福祉
ヤングケアラーなどに関する相談
児童相談所相談専用ダイヤル

年中無休 24時間対応

0120-189-783

いじめやその他子どものSOSについて、子どもや保護者の相談
24時間子供SOS相談ダイヤル

年中無休 24時間対応

0120-0-78310